

APPROACH TO ENVIRONMENT, HEALTH & SAFETY

日本化薬グループでは、CSR 理念とレスポンシブル・ケア精神のもとで「環境・健康・安全と品質に関する宣言」を制定しています。その宣言に基づき、持続可能な社会を実現するため「安全第一」「環境経営」「健康経営」につながる種々の活動を展開しています。なお、2018 年度レスポンシブル・ケア方針では、生物多様性への配慮についても掲げています。今後も社会情勢の変化による「リスク」と「機会」を認識し活動を続けていきます。

健康増進プロジェクト

有所見者数
4.1%減

厚和産業では、2015 年より従業員の健康保持増進を目的とした「健康増進プロジェクト」に取り組んでいます。従業員が安全に作業する上で、健康であることが前提と捉え「健康なくして安全なし」を基本に、メンバーは各部署代表、環境保安部員で構成し、サポート活動を中心に取り組んでいます。

メインの取り組みは、従業員全員での「健康増進チャレンジ」で定期健診から生活習慣の改善・予防の目標を立てアクションを決め、毎月、自己評価を行うという内容です。その他にも『健康出前講座』と題し、市の健康増進課の協力を得ながら「生活習慣病」「煙草について」等の講演会や従業員参加型の「健康チェック（血管年齢、他 7 項目）」「ウォーキングイベント」を実施しました。また、社内

報では健康に関する記事の連載による意識高揚を図りました。開始より 3 年間で従業員一同、健康への意識が向上し、自発的にも行動を取るようになり、健診結果にも良い結果が表れています。

喫煙率
2%減



健康増進プロジェクト 3 年目メンバー

フォークリフト認定制度による運転技能の向上

鹿島工場では、フォークリフトによるヒヤリハット事象が頻発した時期があり、その対策として運転者の技能向上を目指し事故の未然防止を図るため次の取り組みを行いました。

①技能向上のための取り組み

外部講師による実技講習会（「運転操作の基本」「運転量と教育指導の仕方」）をフォークリフト作業員全員が受講

②運転認定制度の導入

認定試験の合格者だけに運転が許される（有効期間は半年）

③環境整備

教習コースを常設し、何時でも運転の練習と実技試験が可能

④運転技術の解析

全方向ドライブレコーダーを設置し、映像をもとに運転者の状態や癖を解析

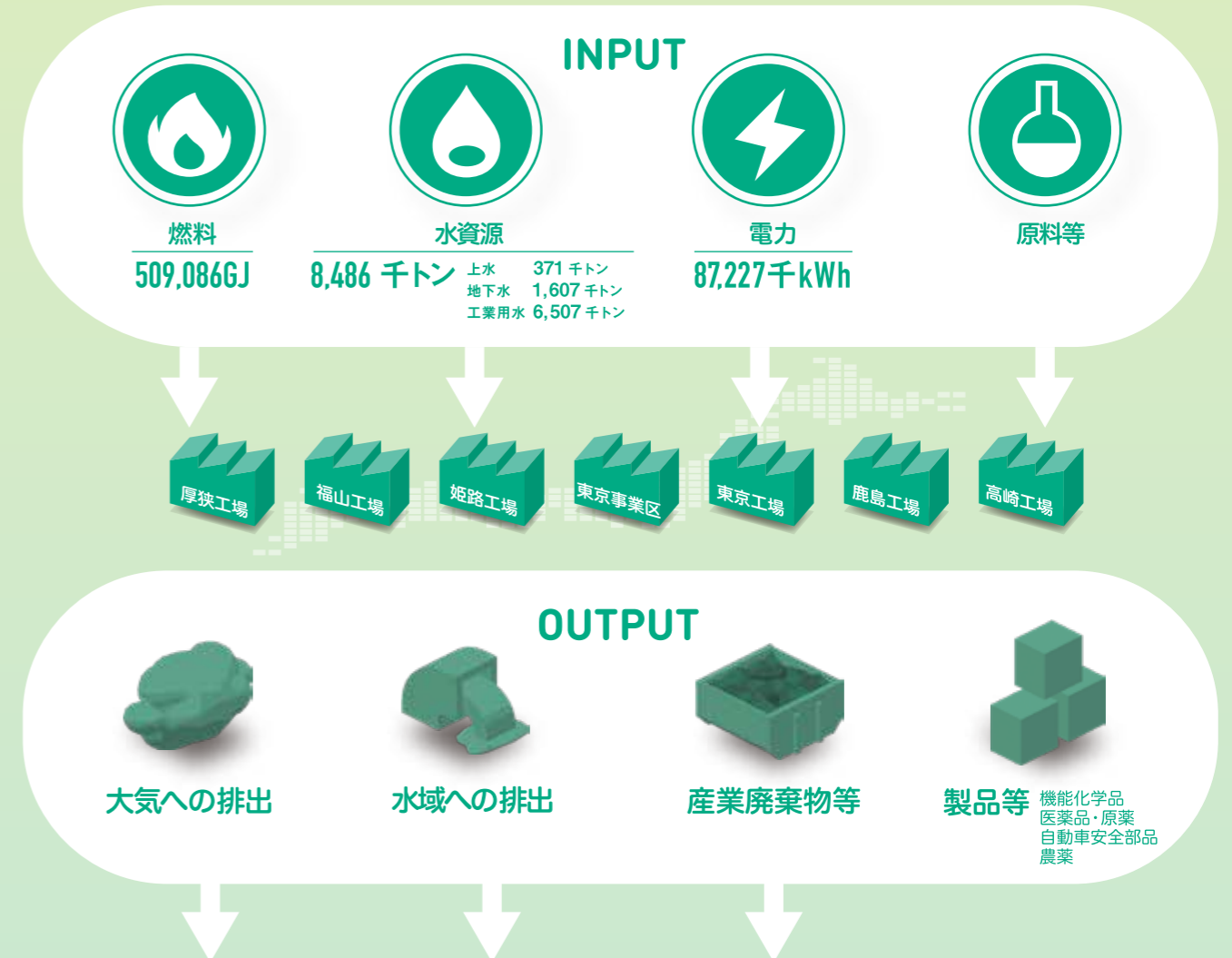
これらの取り組みにより、フォークリフトによるヒヤリハット事象を激減することができました。今後も認定制度を継続することにより事故の未然防止につなげていきます。



教習コースでの実技試験

Material Flow

事業活動におけるマテリアルフロー



■中期環境目標と2017年度の実績

	地球温暖化防止		化学物質排出削減		廃棄物削減	
	エネルギー起源CO ₂ 排出量 ^{※3} (生産部門+業務部門)	VOC ^{※1} 排出量	COD ^{※2} 排出量	廃棄物発生量	リサイクル率	ゼロエミッション率 ^{※4}
2017年度実績	71.3 千トン	24.5 千トン	132.1 千トン 総排水量9,596 千トン	20,552 千トン	79.7% 工場外移動量 19,213 千トン 内、産業廃棄物 最終埋立処分量 1,148 千トン	5.6%
前年度比	1.1% 減	16.1% 減	5.5% 増	0.8% 増	1.5ポイント減	0.8ポイント増
2020年度目標値	79.5 千トン以下	42 千トン以下	150 千トン以下	23,500 千トン以下	80% 以上	3.0% 以下

※1 VOC: Volatile Organic Compounds (揮発性有機化学物質) ただし、集計には政令で報告対象となっている化学物質以外に反応で副生する化学物質等、大気中に放出されるすべての化学物質を含めて管理しています

※2 COD: Chemical Oxygen Demand (化学的酸素要求量) 水中の物質を酸化するために必要とする酸素量で、代表的な水質の指標の一つ

※3 エネルギー起源 CO₂排出量: 2005 年度 (82.6 千トン) を基準として 3.8% 削減が政府方針です

※4 ゼロエミッション率: 日本化薬では廃棄物発生量全体に対する内部および外部埋立量の割合として定義しています

WEB コンテンツのご紹介



環境・安全衛生・品質
マネジメントシステム
環境保全、安全衛生の推進および品質
保証の維持・向上に努めています。



安全衛生・健康に対する取り組み
事故や労働災害の未然防止、健康づくり
活動に努めています。



環境に対する取り組み
中期環境目標達成に向けた各種施策を
実施し環境負荷低減を図っています。